

## 平和大会全体集会 海外3氏の報告とゲスト3氏のスピーチ

東京慈恵会医科大学教授・憲法研究者 小沢隆一さん

菅首相による私を含む学術会議会員候補6人の任命拒否は、国会審議を通じてその道理のなさがよりいっそう際立っています。支離滅裂な理由を次々と持ち出す菅首相の態度は、法治主義に反し、議会制民主主義を愚ろうするものです。

今回の事態を発端にして、異論を排除する政治が横行し、もの言えぬ社会の風潮が強まるならば、思想の自由、表現の自由、信教の自由などの精神的自由権、すなわち憲法そのものの危機といわざるをえません。

法の支配の破壊と人事権を使った強権支配は、平和と民主主義、憲法にとって重大な脅威です。みなさんと手を携えて平和と憲法の破壊に正面からたたかい抜く決意を新たにしています。

